

ハナヒリノキ *Eubotryoides grayana* (Maxim.) H.Hara

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 3、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 12。温帯性の低木で、愛知県では生育地も個体数も少なく、存続の基盤が脆弱である。

【形態】

落葉性の低木。高さ 0.5～1.3m になる。葉は互生し、短い柄があり、葉身は楕円形または長楕円形、長さ 3～15cm、幅 1.5～5.5cm、先端は短くとがり、基部は円形または浅心形、紙質で両面にやや硬い毛を散生し、辺縁には先端が毛になる微小な鋸歯がある。花期は 6 月中旬～7 月下旬、新枝の先に長さ 5～15cm の総状花序を伸ばし、多数の花を下向きに開く。苞は線形または線状披針形であるが、基部のものは葉状になる。花冠は緑白色、つぼ形で長さ 3～4mm、浅く 5 裂し、裂片は反曲する。果実はさく果で、扁球形、幅 4～5mm である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (小林 43344, 1993-5-29)、2 豊根 (小林 43325, 1993-5-29)、3 東栄 (芹沢 63581, 1992-5-18)、4 津具 (小林 46054, 1993-8-8)。西：19 旭 (小林 57199, 1995-6-17)。7 設楽東部にもあったが標本を採取していない。

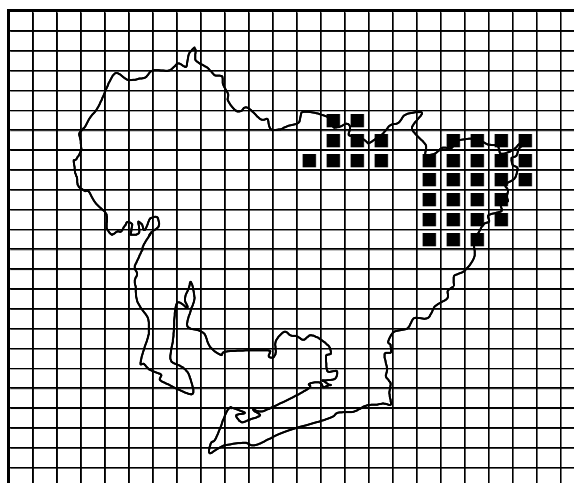
【国内の分布】

北海道および本州 (近畿地方以北) の山地の林縁に生育する。北のものほど葉が大きく、関東地方、中部地方中南部のものは葉が小さい傾向がある。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の岩地や、尾根すじなどの林縁に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

県内での分布は東三河の山地とそれに隣接する西三河の一部に限られており、点在するがどの場所でも個体数は少ない。登山道沿いのものは、しばしば登山者に踏みつけられている。一部の場所では、園芸目的で採取されている。

【保全上の留意点】

遊歩道などを設置する際には、注意が必要である。

【特記事項】

和名は、この木の葉の粉が有毒で、吸うとくしゃみが出るからである。愛知県のものは、大部分が乾燥標本にした時にはさんだ紙が紅色に染まる型であるが、染まらない型もある。

【関連文献】

保木本 I p.137, 平木本 II p.148, 平新版 4 p.255.